

2023年9月25日

株式会社CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(コード番号: 2315 東証スタンダード)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
TEL 03-5657-3000 (代表)

カイクコイン・ライトペーパー公開のお知らせ

～カイクコインをブロックチェーンにおけるゲームコインに！～



株式会社CAICA DIGITAL (本社: 東京都港区、代表取締役社長: 鈴木 伸、以下「当社」) は、2023年6月28日付「カイクコインの新たなビジョンについて ～カイクコインをブロックチェーンにおけるゲームコインに！～」にてお知らせしておりました、新たなビジョンの具体的な構想を盛り込んだライトペーパーを公開いたします。

当社はこれまで、2021年12月に公開したカイクコインのホワイトペーパーに記載の通り、暗号資産交換所「Zaif」における取引所トークンとしてのメリットなどを追求してまいりました。また当社グループは、2022年10月よりWeb3事業へ参入し、ブロックチェーンゲームやGameFi向けNFTの一次販売に特化した「Zaif INO」を運営しております。

GameFi市場は2031年までに約1兆17億円にまでに拡大すると見込まれております[※]。当社グループならではのGameFiへの取り組みとして、新たなビジョン「カイクコインをブロックチェーンにおけるゲームコインに！」を掲げ、このたび、その具体的な構想を盛り込んだライトペーパーを公開しました。

カイクコインは国内のGameFiにおいてハブとなる暗号資産になることを目指し、GameFiエコシステムの形成を行うことで、事業者が安心してGameFi分野に参画できる環境づくりを推進してまいります。また、独自のブロックチェーンネットワークの展開も進めてまいります。カイクコインがゲームコインとしてのユーティリティを実装することで、GameFi分野におけ

るサービス提供を支援するなど、カイカコインの価値向上を進めるとともに Web3 の発展に貢献してまいります。

※（出典：[GameFi Market: Segmented: By Deployment Mode, By Enterprise Size, By End-Use Industry, And Region – Global Analysis of Market Size, Share & Trends For 2019–2021 And Forecasts To 2031 \(reportlinker.com\)](#)）。

【URL 情報】

■ホワイトペーパー：https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2021/12/20211220_9_pr.pdf

■CICC 専用 Web サイト：<https://www.caica.jp/cicc/>

■SNS：https://twitter.com/CAICA_COIN

（添付）

別紙

「カイカコイン ライトペーパー」

以 上

**CAICA DIGITALグループの
強みを活かし
日本のGameFiを
マルチチェーンで支える
CICC**



CICCプロジェクトの目標

CAICAのノウハウを活かし日本のGameFiをマルチチェーンで支える

Zaifの実績を活かしたGameFiエコシステムの形成を行い、事業者が安心してGameFi分野に参画できる環境づくりを推進してまいります。また、カイカコイン（CICC）が国内のGameFiエコシステムにおけるハブとなる暗号資産になることを目指してまいります。

そのために独自のブロックチェーン構築を含めたマルチチェーン対応を進め、国内のGameFiで利用されるあらゆるチェーンにCICCを導入することによって、各GameFiプロジェクトがCICCおよび老舗の暗号資産取引所であるZaifと連携できるような体制を整えてまいります。

各Phaseの概要



まず、Phase1として、CICC GameFiハブトークンプロジェクトでは、CICCのPolygonブロックチェーン（以下、Polygon）への対応とCICCの利活用を積極的に進めてまいります。Polygonは手数料が安価かつ処理速度が高速なブロックチェーンとして知られており、また、ユーザー数も多く、GameFi分野における運用実績もあり、GameFi分野における最適なブロックチェーンの一つと考えられます。特に海外にも多くのPolygonのユーザーがいるため、国外でも展開されることが想定されるGameFi分野と相性がよいと考えられます。

CICCはEthereum上だけではなく、Polygon上でも発行いたします。その上でZaifの入出金においてもPolygon上のCICCを選択可能とし、Polygon上のDEXの流動性も強化する

ことによってユーティリティを強化することを目指します。また、今後、Zaif INO*注1（Initial NFT Offering: GameFiにおけるNFTの初期売り出し）について、Polygon上のGameFiの有力タイトルのNFTをいち早くCICCを通じて購入できるようにすることによって、GameFi分野におけるCICCの利用促進に取り組みます。さらに、将来的にはCICCを利用したGameFiのリリースも検討しております。また、今後Avalancheなど日本のWeb3業界において有力な選択肢となりうるブロックチェーンに対しても早期に対応することで様々な国内Web3アプリケーションとの連携を模索してまいります。

次に、Phase2として、独自ブロックチェーンネットワーク構築では、①Optimistic Rollupと呼ばれる最新技術を用いた独自ブロックチェーンであるCICC Chainの構築または②OasysでのCAICA Verse（Oasysのレイヤー2ネットワーク）の構築を行ってまいります。

CICC ChainにおいてはOptimistic Rollupという最新技術を利用したZaif・CICCを中心とした巨大なエコシステムを形成し、Web3に参入するユーザーや企業が安心して活動できるチェーンを提供することを目指しています。

CICC ChainとZaifの連携により、Zaif上場銘柄に対してユーティリティを提供することが可能となります。具体的な例としては、Staking（ステーキング）などが挙げられます。CICC Chainを利用することで、Zaif上場銘柄に対してStakingなどのユーティリティを提供することが可能となります。上場銘柄に対するCICC Chain上でのユーティリティの提供を通じて、CICCをインセンティブとした長期的なトークンマーケットを醸成することを目指します。また、報酬や特典などのインセンティブを通じて、ユーザーのトークン保有や活動を促進することも可能です。

また、CICCを利用したGameFi支援プログラムやバリデータプログラムを活用することによってCICC Chain上でDeFiやNFTプラットフォームなどエコシステムを生み出したり、国内のゲーム会社やIPホルダーなどの企業を誘致し、GameFiエコシステムを構築することを予定しています。

より安心して利用しやすいGameFi専用チェーンとしてCICC Chainを構築し、ゲーム会社・コントラクト開発者双方を巻き込んだ形でのエコシステム形成を目指してまいります。

Oasysは国内ゲーム大手各社がバリデータとして参画していることもあり、国内 GameFi 開発における最有力ブロックチェーンの一つとなっております。このOasys上に独自のCAICA Verseを構築することによってZaifやCAICAが提供するエコシステムとOasysエコシステムの橋渡しを図ります。

具体的にはINOでの利活用と安全なDeFi・GameFiエコシステムの構築の二つが挙げられます。

CAICA VerseではCICCを保有していることで様々なゲームのNFTをいち早くINOにおいて購入できるとともにCICCの保有によって獲得できるクーポンNFTによって格安で購入することも可能になるようなユーザーにとってメリットの大きいINOサービスを提供します。また、現在OasysのVerseでは交換業規制によってDeFiがあまり発達していないという課題があります。

CAICA VerseではZaifが積極的に協力することによってVerse内でもDEXに類似した機能等を持たせることが可能となり、よりOasysエコシステム全体を強化することができると考えております。将来的にはCICCを利用した金融要素の強い全く新しいGameFiの提供も目指しています。

注1: Zaif INOはカイカフィナンシャルホールディングスが運営するInitial NFT Offeringのサービスです。

Phase 1: GameFiハブトークンプロジェクト

現在、日本や海外において様々なGameFiに活用されているPolygonにCICCを対応させ、事業者がGameFiに安心して参入できる環境を作ってまいります。

また、Polygonの処理速度・手数料の安さを活用したStakingなどの多様なサービスの展開やGameFi分野におけるCICCの利活用を行ってまいります。

また、今後Avalancheなど国内で有力なGameFiに利用されている様々なチェーンに迅速に対応することにより、国内GameFiの支援を積極的行ってまいります。

GameFi分野で活用されるPolygonネットワーク

Polygonブロックチェーンは処理速度と手数料が安いだけでなく、非常に多くのユーザーを抱えています。本書公表時点で、ユニークアドレス数は3億アドレスを超えており、Ethereumの2.3億アドレスを超えています。また、一日に数百万のトランザクションが行われており(出典: [Polygonscan](https://polygonscan.com))、十分な稼働実績もあるブロックチェーンであると考えられます。

また、スターバックス社やMeta社、Adidas社がPolygon上でNFTを発行しており、Web3業界以外の有名企業が進出していることも大きな特徴です。エコシステムについても、分散型取引所最大手の1つであるUniswapやNFTマーケットプレイス最大手の1つであるOpenseaが Polygon上でサービスを展開しており、インフラも整っているブロックチェーンといえます。

日本においても高速な処理速度と手数料の安さを生かしてゲームやエンタメ領域でPolygonが利用されています。Zaifを含めた暗号資産取引所においてもPolygonの手数料に使用されるMaticトークンが取り扱われており、Polygon を利用しやすい環境が整っているといえます。

CICCをEthereumだけではなく、Polygonネットワーク上においても展開することでPolygonの強みを活かしたサービス展開を行うとともに、日本の GameFiやエンターテインメント領域を支援する試みを始めてまいります。

Phase 1.1: Polygonの強みを活かしたサービス開発・提供

Polygon上のGameFiのINOサービス

Polygon INO



CAICA DIGITALグループのカイカフィナンシャルホールディングスは、INOにおいて国内有数の取り扱いを誇ります。

CICCエコシステムは、Polygon上のGameFiに係るINOサービスを開発・提供し、CICCを保有していることで様々なゲームのNFTをいち早くINOにおいて購入できるとともにCICCの保有によって獲得できるクーポンNFTによって格安で購入することも可能とすることを予定しています。

Phase1.2: GameFi連携機能の充実

各チェーンでのGameFi連携施策

	CICCを利用した NFTガチャ	CICC 付与プログラム	CICC Buyback
概要	CICCを利用して NFTガチャを 回すことができる	NFT購入者に CICCを おまけで付与する	収益の一部で Buybackする
効果	CICCの需要の促進 決済手段の多様化	NFT需要の喚起	価格の下支え

CICC GameFiトークンハブプロジェクトとは、CICCを活用して各GameFiとコラボレーションすることでCICCがより広範に使用されるゲームの基軸通貨になることを目指すと同時に、各ゲーム側にもCICCを利用したユーティリティを簡単に利用可能なものとすることでゲーム会社やユーザーにもメリットのある形での普及を目指すプロジェクトです。

具体的にはNFTガチャやCICCの付与プログラムといった、各GameFiタイトルにおいてユーザーを惹きつける機能を持ったサービスの提供やそうしたGameFiタイトルによる収益を利用したCICCのBuy Backなどを検討しています。

CICCを利用したNFTガチャ

Zaif NFTマーケットプレイス*注2において、GameFiなどにおけるキャラクターとして使用するNFTなどをランダムに排出するガチャ機能が実装されています。

この機能はゲームのキャラクターをランダムに割り当てたいと考えるGameFi開発者にとって有用な機能です。このNFTマーケットプレイス上のNFTガチャの支払いにCICCを利用できるようにすることを予定しています。また、CICCを利用した際に手数料がリベートされる機能も追加することも検討しています。これによってユーザーはCICCを通してよりお得にNFTガチャに参加することができるようになります。

NFT購入時CICC付与プログラム

NFTガチャだけではなく、NFTをZaif NFTマーケットプレイス上で購入した際に少額のCICCを付与するプログラムも実装予定です。

当該機能が実装された場合、GameFi運営側はZaifのユーザーを中心とした様々なユーザーにアプローチしやすくなるというメリットを得ることができ、より広範な集客が可能となります。

ゲーム収益に合わせたBuy Back

ZaifやCICCエコシステム上でGameFiがより発展することによってZaifやZaif NFTマーケットプレイスによる売り上げなどの利益が発生します。各GameFiに紐づいている売上げを利用してCICCを市場において買い上げるプログラムを実行することを検討しています。

これによってCICC配布プログラムによる市場放出を一定程度吸収するとともに、さらなるCICCの価値向上を目指してまいります。

注2: Zaif NFTマーケットプレイスはFISCO Decentralized Application Platformが運営するNFTマーケットプレイスです。

Phase2: 独自のブロックチェーンネットワークの展開

独自のブロックチェーンネットワークを構築し、展開することで国内事業者がGameFi分野に安心して参入できる環境を構築します。

その上でブロックチェーン上にサービスを展開したいと考えている開発者や国内のゲーム会社と多方面で提携を結ぶことによってより広範なエコシステムを構築してまいります。

CICC Chain

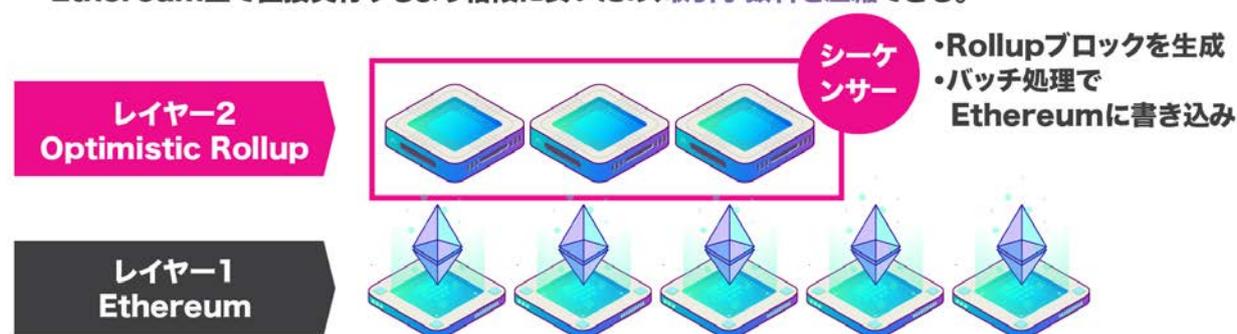
CICC Chainの概要

Optimistic Rollup

Optimistic Rollup OP

◆ Optimistic Rollup (ORU) というEthereum上のレイヤー2技術を利用

◆ ORUの取引履歴や実行結果をEthereum上に刻むコストは、Ethereum上で直接実行するより格段に安いいため、取引手数料を圧縮できる。



CICC ChainはOptimistic Rollupと呼ばれるEthereumの処理能力を拡張するため最新技術を利用した独自のブロックチェーンです。CICC Chain上の大量のデータはOptimistic Rollupの技術によって圧縮された形式でEthereumに書き込まれます。

これによってCICC Chain上のデータの信頼性はEthereumという巨大で安定性の高いチェーンのセキュリティを技術的に引き継ぐことが可能となります。そういった信頼性もありながらも、Optimistic Rollupの技術は手数料も非常に安く抑えることができ処理も高速で処理できるため、Ethereumよりも高い利便性を誇ります。

CICC ChainではGameFi支援プログラムやCICCバリデータプログラムを組み込んでいるためより大手のGameFi開発者と提携し、質の高いGameFiやブロックチェーンのエコシステムの成長を目指します。

Ethereumとの連携

Ethereumメインネットとの連携: CICC Chainは、Optimistic RollupというEthereumのレイヤー2技術を利用しています。Optimistic RollupではEthereumチェーンのスマートコントラクト上でCICC Chain上の処理の正しさとその処理の背後にあるデータの可用性を保証しています。これにより、Ethereumと同程度に安全性が担保された状態で、CICC ChainノードによるEthereumと比べたときの処理の高速化と安価な手数料の恩恵を受けることができます。(出典: <https://ethereum.org/en/developers/docs/scaling/optimistic-rollups/>) また、Ethereum上のスマートコントラクトを介してEthereum上の

資産との連携(ブリッジ)をスムーズかつOptimistic Rollup技術と同程度の安全性で行うことができます。Ethereumは世界最大の分散型金融の市場を形成しており、この市場とシームレスに連携できるCICC Chainは大きな利点を有します。

Zaif関連サービスとの連携

CICC Chainプロジェクトを推進するCAICA DIGITALを中心とした連携により、Zaifやその関連サービスと提携した提供を目指します。こうした連携の具体的な例としてはStakingが挙げられます。Stakingとは、ユーザーが暗号資産を保有してネットワークのセキュリティや運営に貢献することで報酬を得る仕組みです。Zaif上場銘柄の発行主体はCICC Chainを通してStakingなどのユーティリティを提供することが可能となります。

こうしたZaif関連サービスと連携した外部プロジェクトへのユーティリティの提供機能を通じて、CICCをインセンティブとした長期的なトークンマーケットを醸成することを目指します。ユーティリティが提供されることで、投資家やユーザーはプロジェクトのトークンに対して関心を高め、それに伴って銘柄の需要や流動性が向上することが期待されます。また、報酬や特典などのインセンティブを通じて、ユーザーのトークン保有や活動を促進することも可能です。

独自サービスの充実

アプリケーションの充実: CICC Chain上で動作するさまざまなアプリケーションを開発・提供する予定です。具体的には、DeFi（分散型金融）プロトコル、NFT（非代替可能トークン）マーケットプレイス、DApp（分散型アプリケーション）などを検討しています。

既存銘柄と絡めた活発な市場の育成: CICC Chain上のサービスは、既存の銘柄やトークンと連携してCICC Chain上でのアプリケーションの開発などを通して活発な市場を形成することを目指します。これにより、CICCをコアとした取引を促進し、市場の流動性や参加者の活動の増加を目指します。さまざまなトークン間の相互運用性や取引の可能性を拡大し、市場の多様性を向上することを目指します。

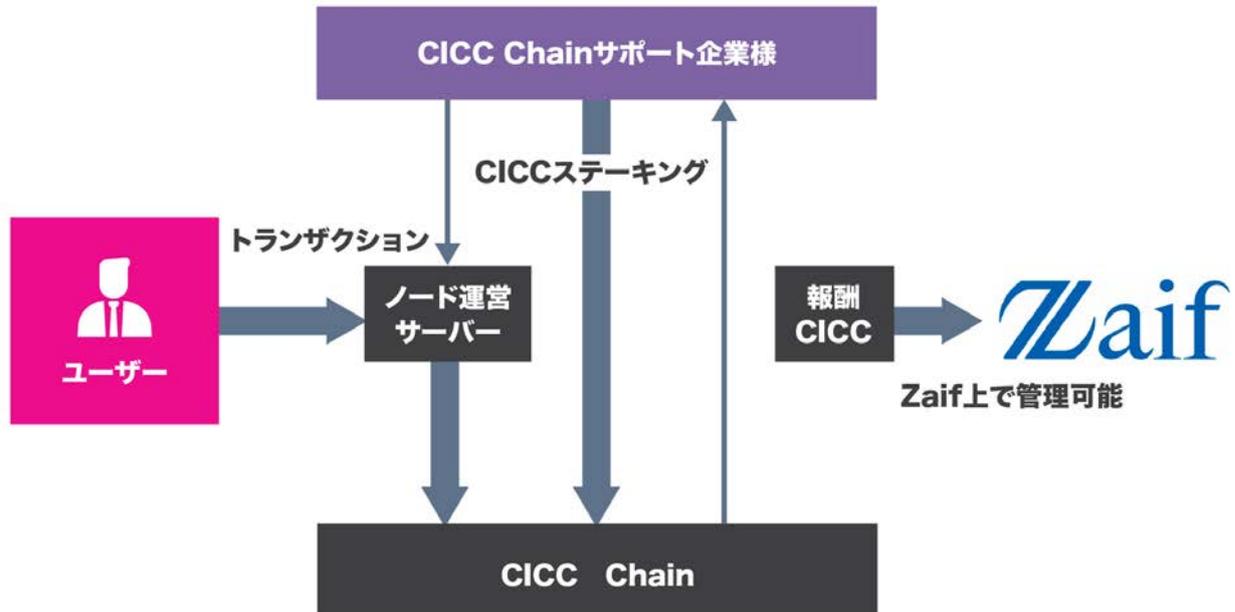
GameFi支援プログラム

有望なGameFiやその他のCICC Chain上のアプリケーションを開発する開発者に対してCICCを利用した助成金プログラムを予定しています。

これによってより多くのGameFiや良いアイデアはあるものの資金繰りが難しい開発者にとって大きな助けとなり、エコシステムがより拡大する重要な施策となります。

Zaifと連携したCICCバリデータプログラム

バリデータプログラム



Game開発会社などCICC Chainの価値向上の中心を担う企業様をCICC ChainサポーターとしてCICC Chainのバリデータプログラムに参画し、CICC Chainの価値向上とブロックチェーンとしての安定性の強化を共に担っていくバリデータプログラムを実施し、国内のさまざまなWeb3参入企業様と密接な関係性を築いてまいります。

このバリデータプログラムにおいては一定量のCICCをCICC Chainにステーキングし、その上でCICC Chainの取引を処理するノードを建てることによってトランザクションの処理量に応じたCICCによる報酬を獲得することができます。

このバリデータプログラムにおいてはZaifとの連携を行うことによって、Zaifのアカウントを通した資産管理が可能となります。これによって問題になりがちなウォレットの管理体制や会計上の論点がより明快になり、参画するハードルが大きく引き下げられます。

CICC Verse

CICC Verse roadmap



CICCは日本発のゲーム特化のブロックチェーンであるOasysと提携し、CAICA Verseと呼ばれるOasys上の独自L2ネットワークを立ち上げる予定です。

CAICA Verseにおいて、Zaif・CAICAだからこそできる様々なユーティリティをその上に乗せることによって日本のGameFiの成長を大きく促すことを目指します。

特徴

CAICA VerseにはZaif・CAICAだからこそできる様々なユーティリティを期待することができます。

1. CAICA Verse上でのINO: CAICA Verseは、Zaifのサービスとの連携を強化することで、より一体化したエコシステムを構築することが可能です。特にゲームに特化したブロックチェーンであるOasysにおいてはINOが非常に重要な位置を占めます。CAICA DIGITALグループはZaif INOを通じたINOにおいて国内有数の実績を誇っています。

CAICA VerseではCICCを保有していることで様々なゲームのNFTをいち早くINOにおいて購入できるとともにCICCの保有によって獲得できるクーポンNFTによって格安で購入することも可能とする予定です。

2. 規制に準拠した安心安全なDeFi: CAICA Verseは、DeFi（分散型金融）に類似した機能をCAICA Verseの運営母体であるCAICA DIGITALを通して提供できることを目指します。これにより、ユーザーは信頼性の高いオンチェーン上の取引サービ

スを利用することができます。Oasys L2(Verse)においてはコンソーシアムチェーンの形態であることからDeFiをユーザーに提供できないことが大きな課題となっており、これを解決することにより日本のGameFi業界を大きく前進させることができると考えています。

これらの特徴を持つCICCブロックチェーンは、Zaifとの連携やDeFi、GameFi分野における革新的なサービスの提供などを通じて、CICCのエコシステムの発展と成長を促進していきます。

CICCがOasysのVerseを使用して独自のブロックチェーンを作成し、将来的に以下の機能を実装する予定です。

Phase1: INO (Initial NFT Offering)

Oasys内外で取り扱われるNFTの初期販売を行います。これにより、新しいデジタルアセットの創造と流通の促進を目指します。CICCを保有することで特典や割引などのユーティリティを提供し、CICCの保有者に特典を享受する機能を実装します。

Phase2: KYCed DeFi (Know Your Customer Enhanced DeFi)

CAICA Verseを通じたOasys Layer2での暗号資産取引サービスを提供することによって、Oasysのエコシステムに貢献します。この取引サービスはDEXに近いユーザビリティを誇り、CAICA Verse上で他のアプリケーションやコントラクトとの連携もできるような仕組みを目指していきます。

これにより、ユーザーはさまざまなトークンの取引や参加が可能になるだけでなく、この機能と連携することでOasysエコシステムがより活性化することが考えられます。Oasys Layer2では実現できなかったDEXライクな取引サービスを、CAICA DIGITALの力を活用して実現します。

Phase3: 金融的な面白さを全面に出したゲーム

金融的な要素を取り入れた面白さや挑戦を提供するゲームを開発・展開することを検討しています。ゲーム内での経済活動やトークンの使用が促進され、プレイヤーによる金融的なインセンティブや報酬の獲得が可能となることを目指します。

これらの機能の実装により、CICCブロックチェーンはOasysのエコシステムを拡大し、NFTやDeFi、金融ゲームの分野において革新的なサービスや体験を提供することを目指します。